

ひよひ川柳会

喜寿米寿この上なにも望むまい
上機嫌寿袋持つて出る
卒寿起え炊事洗濯みな一人
足腰の弱り長寿の夢が消え
介護の輪喜寿を迎えた父祝う
もうこれは寿命ですなと電気店
喜寿さてもなんのまだまだ役に立つ
計報欄とかく気になる喜寿米寿
寿の初荷の競りに活気づく
寿の心でくぐる初詣
日々に感謝卒寿過ぎててもまだ元気
長寿国金が頼りとなる老後
余命表延びる寿命をぬりかえる
寿命など天に任せて鍬を振る
百歳の天寿が諭す人の道
寿の一字鮮やか筆始め

柳本 勝美
宮本ヨリヲ
川添 忠昭
芝 智恵子
渡辺 照子
渡辺 光男
熊本 中心
山本 雅之
宇津本アヤ子
松岡 正志
上田タケミ
清家 厚美
大野モモエ
西田 正念
小越 安隆
栗木 一郎

広見短歌会

腹水を五回も取りし哀し夫今宵も静かに日記に手を置く二宮 安恵
国旗掲げ勤勞感謝の日を祝ふ老いて片手間の農になりても 蛭谷 寿子
それぞれにピアノの音色披露せりはにかみし児らの姿いじらし松崎 静香
初霜の寒さ身にしむ朝まだき母の形見の袖なしを着る 兵田トミ子
旅靴提げて初冬の小豆島ロープウェイゆく紅葉の寒霞溪武田 幸子
つる伸びし鉢の朝顔西窓の日除けにせよと竹を立てたり 山本まつゑ
旧姓をよびて寄り来る人のあり笑み語らうも名は忘れしまま 須藤ヒサエ
臥すことの多くなり日々長かりし亡夫の痛みをしみじみ想う 高田 治子
入所せし夫も寢床に入る頃か師走の雨の音たてて降る 渡辺キヨ子
窓を明ければ白き椿の花見ゆる今日も元気に一日を過ぎむ 渡辺八千代
足腰の痛みに耐えた日々だけに師走の風に温もり求む 伊手リツエ
工事場で手足の如く操作して重機を使うたくましく若者 松下 啓脩
川上手をウォーキングする人数多く夕暮早し子犬も急ぐ 佐々木登美子

大きくなったら

好藤小学校

